

## 文化・芸術



「雪中につぐみ」

制作年不詳、紙本彩色  
53・1<sup>寸</sup>×80・3<sup>寸</sup>

西内利夫（1932〜81年）

大川美術館企画展から

### 〈名画の扉〉

寒さのためか、まるさんが転んだ」をして  
まるふっくらとしたツグミの愛らしさにます  
目がひかれます。みなますが、この6羽もび  
同じ表情をしているより、こちらの様子をう  
うに見える6羽のツグミがかがっているところな  
ミですが、3羽は片足を上げています。両足  
で立っている残り3羽のツグミも、右足を前  
に出していたり左足を前に出していたり、両  
足をそろえていたりそれぞれに異なってい  
ます。

れています。

両足でぴよんぴよん 西内利夫は京都に生  
跳ね、片足を交互に出 まれ、山口華楊に師事。  
してトコトコ歩くツグミの姿が思い浮かびま 日展に入選するなど制  
す。ツグミの歩く様子 作を続けていました  
は、しばしば「だるま が、48歳の若さで亡く  
なりました。（池田）